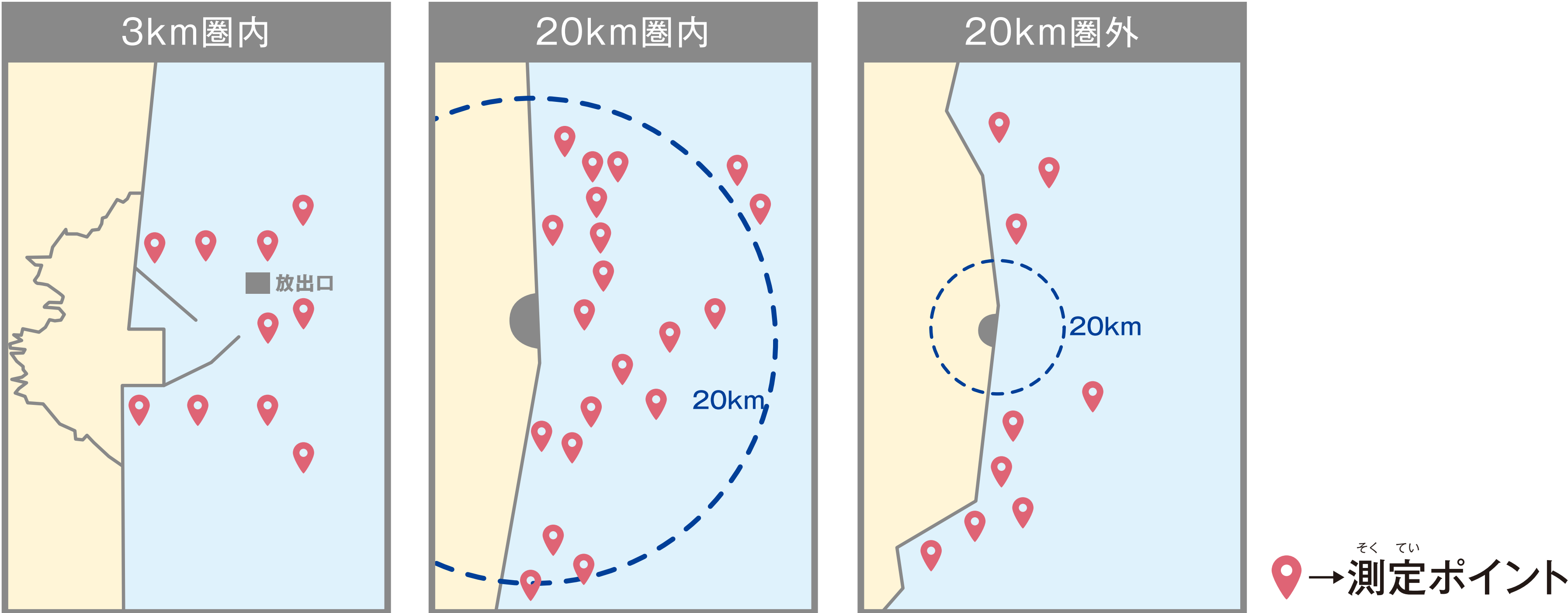


モニタリングの結果

海水のモニタリングポイント

ALPS処理水の海洋放出にあたり、様々な機関が、発電所近傍や福島県沿岸などにて、海洋中のトリチウムを含む放射性物質の濃度を測定しています。



出典:「処理水ポータルサイト 海域モニタリングの結果」(東京電力ホールディングス株式会社) (<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/monitoring/>) をもとに復興庁作成

モニタリングの状況

モニタリングの結果、海洋中のトリチウム濃度はいずれの基準も下回っていることがわかります。

放出後に東京電力が実施した
海水のモニタリング結果の最大値

	エリア	海水の測定結果 [単位:ベクレル/リットル] (2023年8月24日~9月末までに 得られた測定結果の最大値)
トリチウム (迅速測定※)	3km圏内	10
	20km圏内	検出せず(<7.7)
セシウム134	3km圏内	検出せず(<0.96)
	20km圏内	検出せず(<0.00013)
セシウム137	3km圏内	0.98
	20km圏内	0.022

●「<」の右側の数値は検出下限値。検出下限値を下回った場合は、検出せずと記載。
※トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル限度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定。

海水のトリチウム濃度の比較[単位:ベクレル/リットル]

60,000	国の規制基準(放水口)
10,000	WHO飲料水水質ガイドライン
1,500	政府方針で示された海洋放出の トリチウム濃度の上限
700	放出停止判断レベル(発電所から3km以内の10地点)
350	調査レベル(発電所から3km以内の10地点)

詳しくはこちら

東京電力
処理水ポータルサイト



東京電力
包括的・海域モニタリング閲覧システム



環境省
ALPS処理水に係る海域モニタリング情報

